

(様式4)

食育パートナーシップ事業 ～野菜摂取量増及び朝食摂取率向上のための食育実践～
健康福祉事務所名 芦屋健康福祉事務所

1 食育推進状況

食育推進課題	①野菜類の摂取量が県平均より少ない。 外食・中食を利用する頻度が高いが、食の健康協力店の利用増にむけたPRが不足している。 ②朝食を「ほとんど毎日食べる」人が平成20年度県調査より減少している。
推進方策	テーマ「野菜摂取量増及び朝食摂取率向上のための食育実践」 ①食環境の整備と地域との連携の促進 ②関係機関との連携
進捗状況	○各団体・行政機関の食育活動を本会議において報告し地域課題の共有を図っている。 ○食の健康協力店との連携による食環境整備の他、思春期世代の食育を初めて実施。

2 食育関係者

芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 芦屋いずみ会 食の健康協力店 芦屋市こども・健康部健康課 県立芦屋国際中等教育学校
--

3 食育パートナーシップ実践活動の概要

実施テーマ	野菜摂取量増及び朝食摂取率向上のための食育実践		
対象及び参加者数	第1回 食の健康協力店 107店舗 第2回 一般住民 140人 第3回 県立芦屋国際中等教育学校 23人		
課題及び目標	①野菜摂取増を中心とした食育 ②食の健康協力店及び関係機関との連携強化		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	平成28年 7月12日～ 8月25日 市内食の健康協力店	「食の健康協力店における食育推進」 1 食育媒体の設置 2 取組み状況の把握	運営スタッフ： 公衆栄養学臨地実習生 芦屋健康福祉事務所
	平成28年 8月31日(水) 10:00-13:00 JR芦屋駅北側ペ DESTリアンデッ キ	「野菜の日における食育推進」 1 展示 2 試食及び資料等の配付 3 ワークショップ 4 簡易アンケート	運営スタッフ： 食の健康協力店シェヴァー 阪神農林振興事務所 武庫川女子大学栄養 科学研究所 公衆栄養学臨地実習生 芦屋健康福祉事務所
平成28年 11月25日(金) 15:40-16:40 県立芦屋国際中 等教育学校	「思春期世代を対象とした食育実践」 1 講義「Change My Dietary Life」 2 グループワーク	講師：武庫川女子大学 国際健康開発研究所 講師 森 真理 氏 運営スタッフ： 芦屋健康福祉事務所	
評価結果	・食の健康協力店に食の現状を周知し、取組み状況を把握することで、食を通じた健康づくりへのさらなる協力を仰ぐことができた。 ・食の健康協力店主体によるイベントにより、市民に広く野菜・朝食摂取について普及啓発することができた。 ・思春期世代の食育活動を初めて実施し、課題の共有ができた。 ・食育関係者と現状と課題を共有し、それぞれが課題を意識した活動を展開することはできたが、団体間の連携には至らなかった。		

野菜摂取量増及び朝食摂取率向上のための食育実践

食育パートナーシップ事業【平成 28 年度の推進方策】

- ①食環境の整備と地域との連携の促進
- ②関係機関との連携



食の健康協力店との連携を強化し、野菜をテーマとしたイベントを開催しました。また、学校において朝食摂取率向上のための食育活動を展開しました。

第 1 回 食の健康協力店における食育推進

日時：平成 28 年 7～8 月 場所：芦屋市内食の健康協力店

【内容】

- 1 食育媒体（野菜、朝食の 2 種）の設置
- 2 取組み状況の把握

まとめ

- ・ 76%の店舗に媒体の設置ができました。飲食店では、卓上・レジ横・トイレ等、スーパーマーケットでは、野菜売り場等に設置しました。
- ・ 取組み内容が最も多かったのは、「野菜たっぷり料理の提供」で、地産地消や、無農薬野菜の使用に取り組む店舗もありました。



従業員の健康づくりのため、社員食堂にも設置していただきました！

第 2 回 野菜の日における食育推進

日時：平成 28 年 8 月 31 日（水）

場所：JR 芦屋駅北側ペDESTリアンデッキ

【内容】

- 1 展示
- 2 試食及び資料等の配付
- 3 ワークショップ
- 4 簡易アンケート



野菜のパネル展示



ベジフルレシピの試食

まとめ

- ・ 食の健康協力店を中心に、農林振興事務所、大学等様々な関係機関と協力し、幅広い年代の市民に野菜・朝食摂取の大切さを PR することができました。
- ・ アンケートでは目標に達している人は少なく、引き続き啓発が必要であるという結果になりました。



野菜でスタンプ！



野菜食べていますか？

第3回 思春期世代を対象とした食育実践

日時：平成28年11月25日（金）

場所：県立芦屋国際中等教育学校

【内容】

1 講義「Change My Dietary Life」

講師 武庫川女子大学 国際健康開発研究所 講師

食育グループ Healthy+（ヘルシープラス） 代表 森 真理 氏

2 グループワーク



講師の研究結果をもとに講義。
大学生の食事内容に興味津々。



グループワークでは、
学年毎に、自分たちの
食生活の課題、それを
解決するためにできる
ことを考えました。

まとめ

- ・生徒は、食事の大切さについての認識や知識はあるが、実践は伴っていない様子が見られました。講義でバランスよく食べることを再認識したようでした。
- ・グループワークでは、どの学年でも「朝食をしっかりとれていない」「お菓子・ジュースの摂り過ぎ」等の問題点がたくさん出され、解決法として「食べ過ぎない、バランスよく食べる」「生活習慣を整える」等の意見が上がりました。また、「今日学んだ事を他の生徒に伝えたい」という感想もありました。

食育パートナーシップ会議

【構成メンバー】

芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 芦屋いずみ会 食の健康協力店

芦屋市こども・健康部健康課 県立芦屋国際中等教育学校

- ◆第1回 平成28年7月28日（木） 今年度の活動方針について
- ◆第2回 平成29年2月24日（金） 食育パートナーシップ実践活動の報告
各団体の取組み報告、今後の活動について

平成29年度に向けて…

- ①実践活動における調査では、1日に食べる野菜の皿数が5皿以上の人は若い年代ほど少なく、朝食を毎日食べている人も他の年代より少なかった。どのような場面での啓発が効果的か、評価方法も含め参集者全体で検討する。
- ②県食育推進計画（第3次）の推進体制を踏まえ、教育委員会、農林関係者等とのネットワークを拡充し、芦屋の食育が推進されるよう努める。